

校長室だより No.44 12月11日（金）

「その学校行事、何のため？」（情報科学高校グランドデザイン）

今日は今年初めての全校での球技大会が行われ、体育館やグラウンドに生徒の（控えめな）歓声が響いています。1学期は学年ごとにこじんまりと行いましたが、クラスの結束を高め、「チームで協働し実践する力」を養うにはやはり欠かせない教育活動です。

* * * * *

さて、週末に開催した情報 IT フェアが一段落ついたところで昨日、今年度中に策定予定の「情報科学高校グランドデザイン（スクールポリシー）」の完成に向けて、2回目の教職員協議を行いました。

前回（10/30）の全員協議では「本校生徒ができていること・できていないこと」の現状分析を行い、その後、グランドデザイン策定チームがその分析結果をもとに「本校生徒に身につけさせたい資質・能力」を7つに絞る作業を行いました。今回はその案をもとに、それが適当であるかの検討と、それを身につけさせるためにはこういった手段や機会を設けたら良いかを各分掌・学年会に分かれて協議を行いました。

分掌ごとの話し合いでは、これまで各分掌が担当して行っていた様々な行事がどのような「生徒の資質・能力」を身につけさせるために必要なものなのか、そのためには新たにどのような工夫が必要なのかという本質的な話し合いが行われていました。

全ての学校活動において「それが何のために行われているのか」を教職員がしっかりと共通理解して取り組むことは必須条件であるとは思いますが、残念ながらそれが形骸化してしまうこともあります。今回の協議ではそのことを今一度見直し、教職員が一つの方向に向かって結束していく良いきっかけになりました。

教育の「不易と流行」を反映させて学校のグランドデザインを新たに作成していく過程は大変な作業ですが、そのことによって得ることも相当大きいと考えています。次回は各教科ごとの協議を行ってもらう予定です。

グランドデザイン完成まで今しばらく、教職員全員で頑張りたいと思います。

